常磐毎日新聞

日刊

夕刊　四月二十一日

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京　四〇二一〇番

天氣豫報

今晚は南の風曇後小雨
明日は北西の風曇小雨後晴

逝く春も他處に

明朗・理想選擧を徹底

汗みどろの警官諸氏

平町の松ヶ岡を初め郡下の櫻花は去る十八日の日曜を以つて大體絢爛の幕を閉じたが未まだに櫻吹雪と葉櫻の興趣をかつて人々が春を謳歌してゐる反面

一たび眼を政戰に轉ずれば今や旬日に迫つた三十日の總選擧日を目標に第三區三ツの椅子を目指した六候補はそれこそ死物狂ひで果敢な言論戰に奮鬪を重ねて居り櫻の咲いたも散つたも知らぬ氣に汗みどろになつてゐる、更にこの物凄い言論戰、或は三十日の總決算日に備へて文字通りの血みどろの活動を續けてゐるのは

警察官　で殊に平署の如きは管下から三名の候補者が立候補して最激戰地を目されてゐる丈けに同署警察官諸氏は全く頭のテッペンから足の先まで選擧一色に色彩られ不眠不休で張り切つてゐる

斯う緊張して來ると櫻がどんなに綺麗に咲いても皆がどの樣に浮かれても私達はチットも花見をする氣にはなれませんよ、大任を果たすまでは、それこそ本當に緊張の二字で持ちつゞけて行く外ありません

とは或警官氏の虚らない心境で選擧の理想選擧を目指す警察官の取締陣は日毎に激烈になつて行く選擧戰況と共に眞劍味を加へてゐる

全町を練り歩く

學童群の旗行列

肅正運動愈々本格

平町では昨報の如く總選擧も餘すところ旬日に迫つたので最後の肅正運動を起こすべく二十四日午後一時から肅正委員、各區長、小學校長等を招き協議の結果二十三日の選擧肅正デー當日縣社子鍬倉神社々前で祈願祭を擧行する外町內小學兒童の旗行列を五年生以上を動員して三班に分け午前十時同社を出發、全町を練り歩くことになつた、尙提灯行列は都合で中止になつた

平町・不在投票も受理開始

尙同町では不在投票の受理を行ふことになり準備を進めてゐるが不在投票は證明書を提出の上毎日午前八時から午後四時迄町會議室で行ふが未だ一名の申込もない

前年の氷飢饉に

製氷陣整備

早くも鰹漁に備ふ

昨夏鰹豊漁と未曾有の酷暑に襲はれて氷飢饉に惱まされた石城海岸地方名漁港では早くも近づいて來た漁季に本年の氷飢饉を心配これが緩和策に頭を痛めてゐるのに鑑み各製氷會社では夏の需要期に備へて貯氷の万全を圖つてゐるがなんせ昨年度は製氷能力から需給のバランスが取れず切角どん〳〵はける賣れ口もみす〳〵のがしてしまつたのに鑑み今年度は今から各社共をさ〳〵準備におこたりなく張り切つてゐる

全縣下の

クレー射撃

植田町で開催

本年度縣猟友會クレー射撃大會は來月八、九の兩日植田町大字岩間海岸に於て擧行することになつた、當日は縣より縣猟友會長である縣警察部長並に保安課長が臨席、會員も縣下の猛者連百三、四十名參集するので盛會を豫想されてゐる

平署管內の

出席希望者

申込をお早く

別項、植田町に開かれる本縣猟友會第十六回總會に出席する平署管內の出席希望者は同月五日までに通知されたいと

義足男の

捜査困難

昨報豊間築港沖合七町餘りの海上漂流中の五十歳位の右足に義足を穿いた裸體男は平署で慘殺死體と認定して活動を開始し二十日も司法部總出動で豊間村に捜査本部を置き更に縣刑事課より香內部長刑事が應援として來町極力身許を捜査中であるが今尙身許判明しない

尙一ヶ月前義足を穿いた跛の賣藥行商人が小名濱江名方面を行商して居たといふ聞込みもあるがこれとて判然とせず捜査困難である

石城中堅農民

現地指導日割

石城中堅農民講習生の現地指導日割左の如く決定

四月―植田町、五月―上遠野（苗代、椎茸、蔬菜）六月―夏井（二毛作）好間（二毛作、賀行組合）七月―上小川（駒驛）同（農業經營）八月好間（果樹、賀行組合）小名濱（測候所、肥料會社見學）九月―小名濱（同）十月―泉、渡邊（農業經營、産業組合）十一月―大浦、四倉（農業倉庫、セメント）十二月―平町（官所見學）

農民女子

實地講習

二十三日植田で

石城中堅農民女子部は二十三日柴田技手の引卒の下に植田町佐藤賀行組合、養蠶組合で實地講習を行ふ

農事講習同窓會

神谷農試分場農事講習會同窓會は二十五日午後一時から平團体事務所に開く

水産大會

郡下出席者

本年度關東北六縣水産大會は來月三、四兩日岩手縣宮古港に開催されるが本郡からの出席者は左記の如くである

△縣水産會　立花雄七　吉田彌十郎　加藤一造
△郡水産會　金成利惣太　遠藤惣三郎　坂本拾吉　渡邊金市
△小名濱漁業組合　野崎貞行　中野鐵之助　比佐正巳　庄司寅吉　比佐勇　立花新太郎　上馬庄次　馬上喜一　星野熊吉　丹羨之助
△江名漁業組合　吉田楢右衛門　佐藤巳之藏　吉田健悅
△四倉漁業組合　菅波米吉　新妻春次　鈴木米吉　石井鐵三郎　青木鐵三郎　通野龜之助

幼い主家の娘に

怪しからぬ振舞

懲役三年を言渡さる

既報双葉郡大久村の某家に雇はれ勞働に從事中附近を軒毎に荒し廻つた外雇主の娘チヨ（一三）チヤンに暴行を加へんとした宮城縣本吉郡歌津村生れ目下住居不定無職前科一犯三浦貞吉（一九）に係る「窃盗並に强姦未遂」事件の公判は今二十一日午前九時から平支部で中島裁判長係り野木、田中兩判事陪席、櫻井檢事立會、松野尾辯護士列席の下に開廷檢事から懲役三年の求刑あり後辯護人の減刑論あつたが裁判長から檢事の求刑通り懲役三年の判決を言渡された

十二年度經更

指導會

今日平町で開催

石城郡下に於ける十二年度分經濟更生計畫樹立の指導會は二十一日午前八時から平町團体事務所樓上に開き指定村の川部、磐崎、上小川の三ヶ村當事者が參集種々具体策を練つたが縣から磯部主事補が臨席指示した

飯米なき農家が

米價高にSOS

郡下大半の農家手持米なく

祟る物價騰貴に泣く

最近米價は諸物價騰貴等の客觀的狀勢に引づられて連日ぐん〳〵と鰻上りに騰貴し石城販聯の前回共販米最高十二圓二十餘錢に達して益々上らんとする形勢にあるため昨秋の收穫當時先高豫想から賣惜しんでゐた農家はこの時とばかり賣却を開始したゝめ販聯の共販の如きも毎回相當繁忙してゐる有樣である、然しながら現在まで産米をもちこたいてゐた農家は村でも極少數で飯米を殘してこの際高價米を賣らうなどゝ云ふ餘裕のある農家は全農家の三割にも當らぬ程で農家中の幾割かは收穫當時小作米を支拂つた殘餘は現金欲しさから一俵も殘さず賣拂ひ飯米はその日〳〵と買求めてゐる樣な狀態であるため農繁期を控へて賃銀勞働をやる餘暇もなく日毎に上る米價高に都會消費者以上の深刻な苦惱にあえいでゐる

十餘年の努力なり

紹介事業理解深む

平職業紹介所では去る大正十三年以降昨十一年度迄十三年間の職業紹介所成績を調査した結果扱ひ總數……

（求人）男一〇、一九一　女五、八九二（求職）男九、四七七　女一、九九五（就職）男五、一九七　女一、二九四　合計（求人）一六、〇八三（求職）一一、四七二（就職）六、四九一

であるが更に開所當時と今日との比較は求人に於て五百十二名あつたものが十一年度には二千三百九十一名、求職では百三十一名が一万一千四百七十二名、就職では五十五名が七百十四名と同紹介所利用の理解振りが容易にうかゞはれる素晴しい激增の數字を示して

これらは全く當初全然職業紹介事業に理解なく、なにか斯う營利周旋の如く手數料でも取られる如く誤解してゐたものが漸次理解が深まり、利用されて來たゝめで今後共益々激增の傾向を辿つて行きますよ

と四家同紹介所長は朗らかに語つてゐるがこの數字が示す今日の紹介事業の成績は往時を偲ぶ時全く隔世の感を深くさせられる

他人の免許證で

運轉手に化ける

不敵な助手くづれ

假面をはがれ逮捕

若松市地小路普吉氏弟前科一犯五十嵐市太郎（三〇）は過般來平檢事局で石合檢事係りの下に取調べ中の所今二十一日「公文書僞造行使、窃盜罪」で起訴され直ちに平支部で中島裁判長係り野木、田中兩判事陪席石合檢事立合武田辯護士列席の下に公判開廷檢事から懲役一年六ヶ月を求刑されたが辯護士の減刑論あつて閉廷した、判決言渡しは來る二十七日午前九時

同人は去る二月十一日午後十時頃安積郡永成三村村大字笹川字清水上地內に停車中のトラック內から渡邊俊喜君の運轉免許證を竊取これを自己名義に改竄して川部村大字三澤字地ノ作鈴木磬氏方に住み込みマンマと運轉手になりすましトラックを運轉中逮捕された助手上りの強かもの

平土木委員

平土木委員會は二十三日午後一時から町會議事堂に開く

學童無慘の轢死

草履袋を固く握り

哀れ一年生が奇禍

湯本町三函常陽銀行湯本支店員伊庭修氏四男同湯本小學校尋常一年生明チヤン（八）は昨二十日午後一時頃學校からの歸途同町八坂神社下で磐城炭礦專用軌道の石塊積み列車に觸れ兩足を轢斷無殘にも即死したが附近にはランドセルや學帽があり手にはシッカリ草履袋を握つてゐる等このいじらしい姿には集つた人々皆涙を浮べてゐた

開く

吉成訓導が

校長に榮轉

記念品を贈る

篠山平第一、千葉第二、赤津第三の各小學校長及び井上保護者會長は此程發起となり過般平第一訓導から合戸小學校長に榮轉された吉成朝重氏に對し記念品を贈つた

淺水校長が出張

淺水磐中校長は明後二十三日から二日間保原中學に開かれる縣下中學校及び男師校長協議會出席の爲め當日平發午前六時十五分で出張する

上野原

平商で遠足

平商は既報の如く今二十一日午前八時出發、好間村上野原の水源地へ全校生の遠足運動會を催した

第三校遠足

平第三小學校の遠足運動會は廿三日各學年に亘り行ふ

第二校遠足延期

既報明二十二日行ふ筈であつた平第二校の遠足運動會は都合に依り無期延期になつた

失明事件

福島で控訴公判

例の失明事件として世人の注意をひいた双葉郡長塚村魚行商組合長福田富吉の右眼を煙管で撲り失明させた同郡浦戸村長沼魚行商人金井源之助（六三）の傷害事件控訴公判は二十日福島地方廷で開かれたが

同事件の被害者は從來左眼が見えず右の目だけで仕事して居たので全くの盲目となると悲觀してゐたところ、奇蹟的にも右の目が失明と同時に左の目が見え出し結局右と左の目が取換へつこしただけてと云ふ珍事織込み

同日在延證人として法廷に立つた村長が金井は平素から温厚な性格で今度も示談金を得る僞家を賣らうとしたが三百圓にしか賣れず金が足りないで困つてゐると金井の平常を知る消防組頭が同情して六百圓に買ひその金で既に無事示談となつてゐるから執行猶豫を懇願これに對し大島檢事は原審通り懲役四ヶ月を求刑判決言渡しは二十四日

組頭大會出席

平署管內消防組頭二十三名は來月十四、五の兩日白河町に開かれる縣下組頭大會に出席

大野青年團總會

大野村青年團總會は二十五日午前十時から同村小學校に開き郡農會柴田技手が講演する

氷室神社祭典

總つて谷口で祝宴

平製氷會社氏神氷室神社恒例の春季祭典は二十三日午前十時執行、午後一時からは谷口樓で祝宴を

JOHK

今晚の部

▼後六、〇〇　近世日本の英傑「澁澤榮一」東京放送童話研究會
▼後六、二五　英語講座　三浦太郎
▼後七、三〇　講演「總選擧に際し全國民に愬ふ」田澤義鋪
▼後八、〇〇　能樂「小袖曾我」寶生重英他
▼後九、〇〇　レヴユウ「セレナーデ」寶塚少女歌劇雪組生徒
▼後九、三〇　時報　ニユース　明日の話題　番組豫告

明日の部

▼前一〇、三〇　母の時間「兒童の體育乳幼兒の健康教育」齋藤潔
▼前一一、〇〇　小學生尋三の時間　學校劇「先生を敬へ」大阪童話劇協會
▼後〇、〇五　輕音樂　コロナオーケストラ　淡谷のり子　ラヂオシスターズ
▼後〇、三〇　國民歌謠　オリオンコール
▼後二、〇〇　小學生尋四高二の時間「遊就館見學」東京南櫻校兒童他
▼後二、三〇　家庭講座「糖分の害にならぬ取り方」片瀨淡
▼後六、〇〇　近世日本の英傑「澁澤榮一」東京放送童話研究會
▼後六、二五　講演と吟詠　講演「國體詩と岩崎行親先生」山田準
▼後七、三〇　講演「ドイツの國情について」井上庚次郎
▼後八、〇〇　歌謠曲「思ひ出のメロディ」佐藤千代子　有島通雄
▼八、三〇　俚謠「追分」「安來節」出雲愛之助他「博多節」今和歌
▼後八、五〇　浪花節「橘英夫」東家樂燕

待望のオールズモビール號

愈々入車しました

此程入車したダツヂブラザーズ號及びシボレー號に續いて高級車オールズモビール號が入車しました、あく迄御客樣本位の奉仕であります。

『安全、迅速、親切、正確』當タクシーのモツトーであります。

是非御試乘御願ひ致します。

平驛前　昭和タクシー　電話　六四三　六四〇　番

春！一家の團欒は！

宮田寫眞館より……

……昔を忍ぶ永遠の記念に可愛い坊ツチヤン孃チヤンの御姿も若人も老人も……

是非！撮影を！

「晝夜撮影」親切、叮嚀、迅速

宮田寫眞館　平・鍛冶町二六　電話（呼）二六四

食事　喫茶　酒場を　兼ねた

レストラン　サロン

平　田町　電二五三

毛糸、毛織物、人絹類を縮めずに洗へる……

特許新洗劑　モノゲン　定價　0.35　1.20

漬けて十分間、揉まずに落ちる新洗劑

・只今東京講師出張實演中。

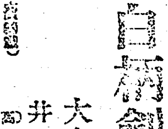
販賣店
平二丁目　中野洋品店
平田町　ハシモトヤ糸店
平大町　丸龜商店
平四丁目　關內藥局

白刃劍風連

大島多慶夫作

井川洗厓畫

（第三）布施長[illegible]　村瀨[illegible]



……一三二……

夏の盜（三）

パタ〳〵と騒しい人の走れた足音が聞えたので、ハツと主水が振り[illegible]めたやうに鐵に振つて走つてくるのを見た。

『驚んだ！驚んだ！[illegible]だ……』

と、町人らしい五十近い男の人が二人が喚きながら駈けてゐた。

それつと主水は源太に、その男の走つて來た方へ駈け出したのであつた。

源太は鐵の後からのそり〳〵と歩いて行く。

老人も、若い人も[illegible]なく、ただ[illegible]にわい〳〵と騒いでゐる。しかし、何處にその下手人があるといふのでもない。

「さうらしうございます」と、主水は答へながらも、[illegible]からさうらしい人影を探してゐるも

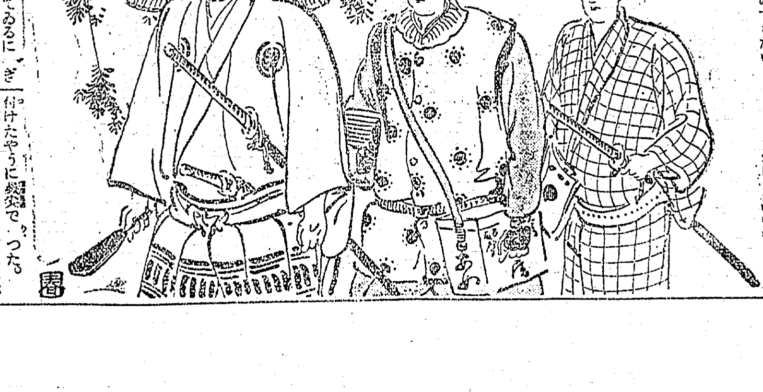
しかし、すこしもそんな人影はうろついてはゐなかつた。ただ[illegible]の田舎娘が荷をおろして休んで[illegible]の長い[illegible]でスパ〳〵と吹かしてゐた。

『まさかな』と、主水は呟く。

源太の顏は[illegible]いたが、その[illegible]の顏への[illegible]のそり〳〵とやつた[illegible]に似てゐた[illegible]を[illegible]ると、ハツと[illegible]にトボけた[illegible]を[illegible]へて、ピリ〳〵とその[illegible]を[illegible]しくうごかした。

『ふゝん』

と、[illegible]に[illegible]の[illegible]



[illegible]と[illegible]作してゐるに[illegible]なかつた。

主水は素早くも、その附近に五左衛門と小娘の女の姿を探し色したが、併しそれに似たものは一人もない。やゝ主水はあてがはづれた形で呆然としてゐた。そこへ、山賊のやうな凄い姿の[illegible]が大手をふつて來た。

『これが源太ぢやないか』

などと呟いた町人らしい[illegible]もあつた。[illegible]の[illegible]は一齊に源太の方へそゝがれた。

『主水樣。五左が居つたか』

と、源太は鋭い眼で[illegible]々々と四方を[illegible]して[illegible]を[illegible]いた。

『居りません』

『うむ』

と、源太は深い溜息をついて

『すると、やつぱり與力の[illegible]が申した[illegible]り矢張り[illegible]は一人や二人ぢやないと見えるなあ』

付けたやうに[illegible]で[illegible]つた。

『おい。[illegible]。その者を[illegible]めるから[illegible]と一緒にそこまで來い』

『へい』

斯うなると、主水の[illegible]に從いて[illegible]る。そして、なるほど[illegible]しい[illegible]だと[illegible]く。そして[illegible]は[illegible]に[illegible]をはなかつた。だから[illegible]一人として源太一人の後から、ぼく〳〵と歩いてゆく[illegible]を[illegible]するものはない。主水は油斷なく[illegible]を[illegible]んでそろ〳〵と歩く。

そして、[illegible]を[illegible]つたところは、まだ人家がぽつ〳〵とつゞいてゐた。そして、ぽちり〳〵と[illegible]れて人家や[illegible]の[illegible]が[illegible]つてゐた。

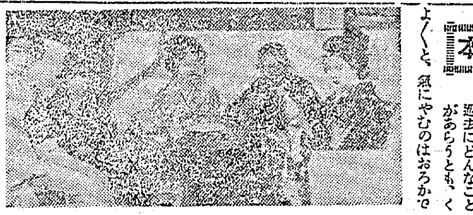
人通りの少い[illegible]へくると、源太は四邊を見廻して[illegible]つてゐた。[illegible]、[illegible]と[illegible]には[illegible]の[illegible]

源[illegible]であるといふ[illegible]が[illegible]つた。

モダン奧樣讀本

良人の秘密を……知つた時の處置

荒立てず自信を持つて解決せよ



過去にどんなことがあらうとも、くよ〳〵と、氣にやむのはおろかです。現代の男性で、結婚までに一つや二つ戀愛の經驗のないものはない。もしありとせば、むしろ[illegible]人情を解しない男であると婦人たなど、有難がつてみたら少々それはおめでたいといつていゝ

一定 の時までは異性から何とか思はれたりする男性はど價値があるので、女性にとつてはよい良人であるわけだ。結婚したあとで、良人の持物を整理してゐると、思ひもかけぬ婦人からの手紙の束などを發見し「私はあざむかれてゐました」など丶嘆いたり悲しんだり、揚句のはては離緣話まで持上つたり、新聞の身の上相談へ問合せたりなど、よくあることだが、女性はもうすこし聰明でありたい

過去 の秘密も、もう一歩すゝんで他の婦人との間に子供までまうけてゐたこと發見したとする。問題はこゝに至れば嚴肅なる道德の見地では解決しない。

さういふ時には、要は宜しくその子供を引取つて、自分の子供として育て丶行くだけの度量を持ちたい。嫉妬やけりや愛憎まで措いで子供までに辛く當つたりすれば、結局は子供の愛に泣かされて、現在は愛されてゐない女でも子供の母親が勝利を占める事になる。他人の子供を我子として育て丶行くことは苦るしい茨の道には相違ないが、妻の立場を保證するためには、それもまたやむを得ぬ

良人 の秘密が現在までも糸を斷ちきれずにゐる場合、或は、結婚上りや旅行中にふとした出來心で持つたひみつなど、その程度の輕重によつて一概には申されぬが、良人は決して自分を見捨てる氣持ではないといふことに自信を持つて、あわてたりさはいだりするにはおよばぬ。事をあら立てず、先づ世親か伯母などに相談して、目上のものから話してもらふのも宜しからう

商賣 人ならば、落ちき料の數も考慮しておだやかに話をすませ、素人なら相手の婦人に會つて、よく云ひきかせ、結婚の世話をしてやるなどは當を得た解決法である。いづれにしても、相手を憎して自分一個の幸福を希ふことなく、相手も立つやうに、自分も立つやうにするのが賢明な策である。犧牲によつて創られた幸福にはかげがさす

◇…

戀愛こちらが自分にとつて大切な良人ならば、つとめて愛する心持になれば、自然と態度もかはつてくる

愛の [illegible]らんなどゝいふが、愛情も分量はきまつてゐる

妻が獻身良人に全身的な愛情をそゝいでゐれば、良人もその愛に感じないではゐられない。家庭に滿足して充分の愛情をそゝいでゐる良人は、他をかへりみる餘裕がなくなつてゐる。かういふ良人は、他の女性から見れば何等異性としての魅力を感じられぬ存在をしてゐるものである。浮氣な良人とはすなはち、家庭にまつたく愛をそゝがず、愛情の餘裕をもつてゐるものを分散するのであつて、そこへ他の女性が侵入してくる危險が藏されてゐる

一日一言

一家の團欒に

優る幸福なし

さあ、これから 結婚への準備工作

おしやれ第一課

永い間の女學生々活をつゞけられたお嬢樣方は、今までは身の廻りはあまり氣にかけられませんでしたでせうが、これからは學生時代と違ひ、どうしても人目をひくやうになりますから、御平常でもやはりサツパリしたお身姿をしてゐらつしやるやう御心掛て下さい

◇こゝ にはまづかんたんな御手入れを申上げますから、これを土臺としてお好きなお化粧を研究してください。然し化粧の秘訣は個性を生かすことであつて、個性のないお化粧の仕方などは凡そ意味ないものであることを頭においていたゞきたいものです。さてはじめはお顏ですが、女學校を出たからといつて急にきれいになるものではありませんから、お顏やえりに生へてゐる產毛はきれいにそつて白粉はごくあつさりといたします

◇**頰紅** はすこし濃い目にしてもよろしいですが、口紅はあまり濃くないやうにロードクリームの少量で唇をうるほして置きます、眉はわざとらしくないやうに、餘程濃い方でないかぎり、描くのはこのましくありません。化粧品はすべて自分の肌と相談して何々が流行だから、といつてすぐそれを用ひたりしないで、御自分の肌に合ふのをながく使用することが肝心です。顏はもちろん大切ですが、全體としての

着物 の着附も大事です、今まで洋服ばかり着て、急に和服になると身體のこなしがつきませんから、よく注意してお母さんなり姉さんなりに見てもらふことが必要です

「惱ましさ」を山積み

つまりそのウエロの

現＝行＝犯＝です

これは小さな穴からのぞく近代女性の「のぞきからくり」です そこには色々な生活態が、女性を中心にして毎日カラリコロリと變つて出る仕掛になつてゐます、中には鄭ミツの臭氣フンプンたるものもありませうし、また春の夜の惱ましい秘話も聞こえやうといふもの、たゞそれがどんな形で皆さんに見參するか──

春といふ時節はナゼに斯くまでナヤましいのでせう？

と或る女性が心から惱ましさうな表情をつくりながら嘆息するのです。

ソコでまた男性も惱ましくなるのですが、かうどうもお互がナヤましくなつたのでは何か困つた結果になりはしないでせうか。

或る日のこと、想ひにフケりな

ナヤましい連中が、或は腕をくみ或は手を取り合つて、ヒソ〳〵と日比谷の舗道をしてゐるヂヤありませんか、氣難い記者はフラ〳〵と夢になつて警察へとび込んでしまつたものです。

画　画

「そんな氣の弱いことでキミイ駄目だよ」

と私服君が激勵して、

ぎてこまつたよ、何しろ自動車で穢切れないで、僕ア電車で引つ張つて來たヨ」

「春の、現行犯といふんですか？」

「マアそうだナ」

で惱ましい五月闇の花を私服君の見本に依つて分際してみるとコレハコレ〳〵──とばかりおどろくです。

令孃とイシ[illegible]」

尾行した私服君が遂に堪まりかねて聲をかけました。

「モシ〳〵」

中年の紳士と淑女のやうなお孃さんが立止まります。

「御夫婦ですか？」

「いゝえ親戚です」

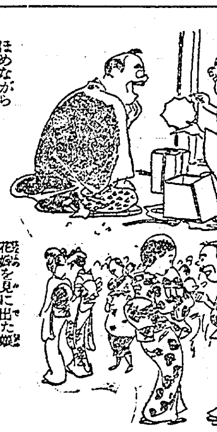
「おぢさんですか？」

お孃さんの方に詰問の矢がとびますと、だまつたまゝコツクリします。

「おぢさん、おばさんのお名前は？」

見……で警察で同行してしらべると、茶といふレツキたる醫者で女學生のお孃さんはその夜處女を失つてゐたとか──春の夜のナセるイタヅラとしては、餘りに大きすぎます。

最後にナンといつても一番多いのは、女給さんと會社員だそうですが、近頃のキツサガールと女學生のエロ進出は目ざましいもので〇〇ホテルとか郊外へのランデブウなどはほとんどコンな連中だそうです。今時の小[illegible]ナンテ惱まし


ほめながら
會話のゆかぬ贈物
花嫁を見に出た嫂
なぶられる

川柳漫畫　落田山花句　絲川まん六畫

近ごろの御婦人は なぜ本を讀まぬか

圖書館の利用が少い

問…今は一年中でもつとも讀書に適する季節です、そこで一般大衆にもつとも利用されてゐる東京市の日比谷圖書館の最近發表された統計を見ますと、一年間の入館者總數二十八萬、それを職業別に見ると、學生が十萬で第一位を占め、次が商工業者の五萬三千、官公吏一萬四千、無職七萬、兒童三萬其他となつてゐます

問…讀まれる本は、やはり文學書がもつとも多く全體の二四パーセントをしめ、政治、法律、經濟が十五パーセント、醫學、理學、歷史などが十二パーセントです

問…この全體的な傾向に比較して婦人は圖書館をどのくらゐ利用してゐるかを見ますと、入館者は二萬で、男子の一割にも足りません そしてその讀書はほとんど大部分が試驗準備書であるとのことです

問…この統計を要するに、婦人には、試驗勉强の場として圖書館を利用する以外に、讀書をたのしむといつた觀念がいちゞるしく少いといふ事を如實に物語つてゐると考へて差し支へありますまい、圖書館とは大體において自由にほしいだけの必要な書物を購入する資力のない無産大衆がその知識慾を滿足させるための公共機關です、これを利用する婦人がすくないとは中流以下の婦人以下の婦人（知識階級の大部分はその中に包含されます）には讀書慾がないといふ結論になるので一般に女學校卒業程度の婦人の讀書が婦人雜誌の通俗小說程度にとゞまつてゐるのはさびしい感じがします

問…外國の婦人が、暇あるごとに圖書館へ出掛けて新しい知識を攝取し、晚の食後に御主人に語つてきかせるといふのとは、問題にならぬへだゝりです 婦人が自らを高めることは、時たるべき天職にもつとも必要且つ忠實なことではありますまいか

問…我國の家庭生活では一度家庭に入ると、婦人の手を待つ雜用は案外に多くて、讀書のひまをあたへぬといふのも、偽りのない事實ですが、その家庭の雜用の無駄をはぶいて、有益な讀書の時間を生み出すといふことに、婦人はもつと熱心であつてよいとおもひます

鼻の形で 性力が判ります

これは本當です

よく鏡と相談して下さい

その昔アジアの王はたくさんのうら若い女を玉の汗の出るまで後宮を走らせ、走りつかれた時に女たちの衣服を王の前に持つて來させ汗にまじつた體臭で王は愛人をえらんだといふ話があります。つまり個人的にほひで性慾の對象を自由にやつたものです

◇…

これは心身の動搖で體臭が一層さかんに發散されることのデモンストラチオンであります。香りの性的結合が嗅覺機構の强大なる發達と性的機能のこれも强く、たくましい發育との間に何か相互的の鎖がつながつてゐると昔から云はれて居ります、大きな鼻の男は性慾者も大である、といふことは古今東西を通じて一般的定說であり、殊にローマ人はこれを疑ふうに信じ切つてゐた、觀相家はそれを重大視して淫蕩な女性はこの間の事情を知悉してゐたさうである。そして長い鼻を持つ女は性的にも强いと見なされて居ります

◇…

かやうに男女共に嗅覺的機能と生殖器とは可なり密接な關係のあるといふ一事、彼等はよく一致した性能をしめすといふ一事、そして生殖機能上に働く器官が反射的に生殖器に影響するといふ一事、この一事〳〵は今日の科學でもある程

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）

村瀨春映（畫）

人造島（七）

一二一……

『どつちに轉んでもありやしない』

大ざつぱなボルトメンも、思はざる智惠がでる。

約束がすむと、もうボルトメンは機上の人となつた。

『どうだ、一晚氷の島に泊つてゆかぬか』

ウルリツセ老科學者はすゝめたが、ボルトメンは

『いや、こんな處に愚図々々してゐて堪る……おつと、アメリカの飛行機にでもみつかるといけない』

粟飯原も、機上の人となつた。

『では、ウルリツヒさん、近いうちにまた參ります』

『さうか、では期待してゐる。明日にもアメリカの航空隊がやつて來るだらう。そのときは、すぐにやつて來給へ』

降飛行機は、爆音もたてず、そのまゝ氷上を滑走して、靜かに陸をはなれた。

ウルリツヒは、助手や職工たちとゝもに、低空を去る降飛行機を、いつまでも見送りながら、深い溜息をもらした。しかし、その溜息は、悲觀とはおよそ反對の感情の動きを示すものだつた。

『粟飯原といふ奴は、なか〳〵の人間だ。あの男を逃したのは、クーベー博士や、ピコル氏の最大の損失だらう』

と、獨りつぶやいた。

降飛行機は、まもなく雲烟はるかの彼方に沒してしまつた。

『先生、ほんとうに、あの粟飯原といふ人は、ガス兵器で、あなたの氷の島を融かすでせうか』

助手が、そつとたづねた。

『わしのガス兵器と同樣同質のものならば、あるひは、このコンクリート以上の氷の島が融かすことができようか……とにかく、あの男は一種の曲者だからなア』

『クーベー博士のために、魂を拔きとられたといふ話ですが、科學的にそれを說明することができませうか』

『むろんできる……しかし、クーベー博士に、あの男にしたとみえる』

『ガス兵器戰のために、アメリカの航空隊が滯泊中に、この島を融かしてしまつたら、それがきつかけに戰爭となりさうですね』

『さういふことになりさうだが、しかし、あの降飛行機は、國籍がわからぬし、無類の降速力で、おまけに無音飛行機ときてゐるから容易に尻尾がつかまるまい。その點では安心だらう』

『ですけど、アメリカでは、それに何とか難くせをつけて、日本に挑戰するにきまつてゐます』

『日本は、好戰國のやうに世界に誤られてゐるが、けつしてさうではない。避け得べき戰爭なら極力避けるだらう。日本は東洋の君子國だ』

『先生は、日本贔屓ですね』

『いや、日本を尊敬し、アメリカを憎むなどゝいふことはできない。わしは、むしろ國家といふものを撤廢したいくらゐだ。たゞ國家を否定しても、民族は民族それ自身自決するからなア……』

『もし、太平洋を挾んで、日本とアメリカとが戰爭をするやうになると、あなたは、どういふ態度を執られますか。どちらに味方しますか』

『どちらにも味方しない』

『でも、ピコル研究所の技師として……』

『いや、わしは、ピコル氏の使用人ではない。ピコル氏の財力と研究所を利用してわしの研究をつゞけてゐるに過ぎないからな』

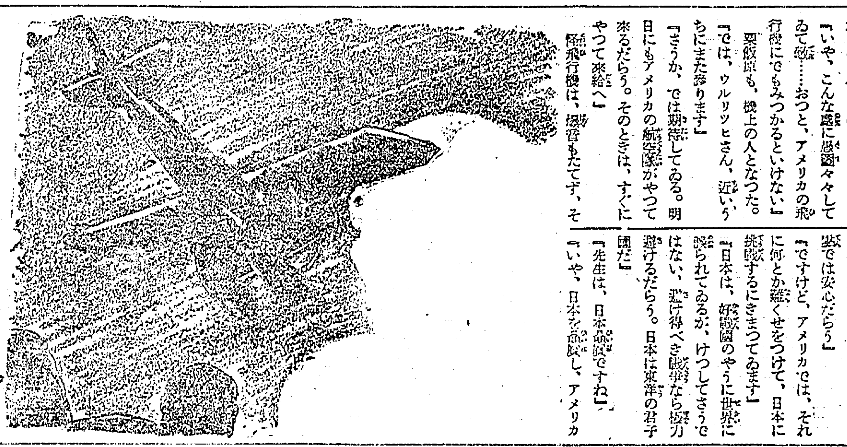
『では、戰爭になると？』

『最高の科學兵器を續々とつくつて、戰爭を不可能たらしむるまでさ』

『でも、感情的に、少しは日本なり、アメリカなりの、有利を計られるでせう』

『いや、わしは、科學の使徒、絕對正中立を守る』

ウルリツヒ老科學者は、氷の路面を、相變らず[illegible]るやうにしてあるき廻つてゐる。



胃腸を害ね或は下痢をしたり或は三日も四日も便通がなくて頭痛を覺える御方はキゝメの早い
靈効散 胃腸藥 を御試し下さい
胃腸病、心臟病、脚、痔、濕瘡藥 三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御疑の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい
平町古鍜冶町一〇縣社ノ下
漢方藥調劑所 阿康藥局
電話四一四番 振替口座東京（六六〇）番
定價（五十錢 壹圓）八日分、廿日分
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

外科一般 レントゲン科
內臟外科 泌尿器科
北川外科
平町新川町二七（諸橋醫院跡）
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次
電話四六四番
（血液檢査毎日）
イツデモ入院出來マス

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券質、物一般
三井質店
平四 電話六〇六番

產科 婦人科 專門
平町南町五一
根本醫院
根本莊次郎
根本貞雄
電話三十四番
（手術室完備 入院隨時）

貸ボートと釣
春！春！
丹後澤は招く!!
磐城史上にその名を誇る丹後澤の水は滿々とたゝへ鏡の如き水面には…新裝こらしたボートが吾等を招き！幾百年の謎を秘めた水中には無數の鯉魚が太公坊を呼んでゐます
將にこれ！平町のパラダイス
一日の清遊は
是非丹後澤へ!!!
丹後澤遊覽會
「花友」八田與市
平白銀町 電話六九五番

市制實施の
躍進的味ひ。
うまさ!!!
新興都市『平』の
味覺行進曲
新菓
たひら羊かん
一本金十錢
土產好適品
松月堂謹製
磐城平（電話二〇六番）

三井タクシー
平 二 電話五八六番

外科
專門 X光線科
上田外科醫院
平町南町 電話一二九番

壁の塗り替へは！カセイン
大谷建材店
平町紺屋町 電話三六番

開院 平病院
平町（元共濟病院跡）（電六四一番）
院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長 醫學士 木下基一
外科 部長 醫學士 橫山喜俊
產婦人科 部長 醫學士 池谷宗三郎
皮膚泌尿器科 レントゲン科 部長 醫學博士 鈴木定藏
物理的療法科 技師 岡田重德
藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平
◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄（夜間往診ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診 隨時
病室完備……入院隨時【自炊ノ便アリ】

花柳病科 外科
木村外科醫院
平町六丁目橋際 電話三〇九

春物は
是非！
當店から
（在庫豐富）
玉屋洋品店
平町田町通 電話六五六番

阿部石炭店
平驛前 電三十七番
石炭 コークス 豆炭

1937年の尖端を行く
パラソルと スプリングショール
◎色とりどり種々陳列◎
理想的・カラー付ワイシヤツ・出現
カラーに最も特徴ある 糊無し仕上げ
ザ ニユウ ウエスタン シヤツ
ポプリン地製
模樣 2.50-3.00 色無地 3.00 白無地 2.50
是非御來店下さい、よく御說明申し上げます
ツルヤ
電話一四〇番